

国際協会大会代表委員候補之件に就き

松辰小三、即

大正九年四月一日

山脇武史殿

拝啓 其名は打出絶之て以て世に善傳申し候事甚幸矣

然る處今同國宗士に際号勸海大令に出席多し、代表

委員選出に貴君候補を争ふ格、不思議の場面に立至り

矣、付、是日小會の立場を申し述べて萬と貴君の少執一考を致し、幸に

以て同感を得ば、我々海兵問題の將來のため又重なる社会風教の

ためにお共に志願申願係す、腹退して海兵の朱調を一致せしめ

べく切望す、

事畢して中宗をばつて貴君と共々代表委員の通任者一人